

2016年10月31日

みなさん、秋の夕暮時をたのしんでいますか。  
時には夜明けの魅惑もいかがでしょうか。

暗闇に少し光が現われ空と大地の境が「やうやう白くなっていく」頃、空気があまりにも静かでひんと張ったような時刻……夜でもなく朝でもなく、どちらでもない時間……そんな時間には何故か不思議な感情が湧きあがります。

闇から光、光から闇へと変化する日の出、日の入が特別に美しいこの季節には、流れてゆく時の中で、「どちらでもない時間」の魅惑にあらためて気づき味わう日々を過ごさせてもらうこととなります。

自然が与えてくれる誰の心にも響く体験は、実は一人ひとりの「私」という存在の内側で起きていることでもあるような気がします。

どちらでもない時間がいたるところにあるのでしょう。

息を吸い、まだ吐いていないような瞬間も そうかもしれません。眠っているのか、目覚めているのか……の微妙な状態もそうでしょう。

例えば「色づいていく大木を目の前にしたとき、外なる木はやがてある瞬間に、ひとつの特定の印象となって私の内で生き始めます。どこまでが目で見ている体験で、どこからが私の印象と呼ぶものなのか分かりませんが、その経過の中で、ほわーっと感動している どちらでもない時間があるようなのです。

また別の例ですが、長いこと思い巡らしていた問があたとして、その答えをさんざん求めても見つからずに問があることを半ば忘れかけていた頃、何気ない拍子に突然ひらめくような時があります。そのような場合も ふり返ってみると、あーでもないこーでもないと言葉が苦悶しがんがん向かっていたり、放り投げかけたりしながらも、身体の深いところで静かにむずむずと「やってきそうな気分」がひらめきの前におそらく一瞬あったかもしれないと思うのです。

問に悩む時間と、そこから解放され問をのり越えた、晴ればれとした時間をつなぐ「時間」がです。

顔を真っ赤にくしゃくしゃにして、泣いていた赤ちゃんが不思議な歌や「いないいないばあ」をきっかけに「にこっ」「けらけら」と変化することがあります。

「ばあ」をき、かけに それまでの表情を停止し、別の表情へと変化に転じる赤ちゃんのその一瞬に、私は「入であること」を感じないではられません。

人は自らの意志で一瞬にして状況を変える可能性を持っているのだと思います。苦難をチャンスに、失望を希望に、闇を光に変化させる内的な力があるはずなのです。

よろこび・命の生きいきさの本質が「変化」するところにあるなら、ある状況から別のところへと向かう、その間の漂いの時間が何か大切なものを担っているように思えてきます。

大自然は日の出・日の入のように、くり返し美的な表現を通して変化するドラマを漂いの時間と共に祝祭的なモデルとして与えてくれますが、私たち一人ひとりにはそれぞれの人生のそれぞれの一本の道の中で、困難や苦勞を通して新たな可能性に向けての変化を準備し、進んでいかなければいけないのでしょ。

変化する可能性を自分の中に認められるとき、「私は自分として生きている」と実感できるのでしょう。

なかなかそうは言えないのが、思うようにならないのが、実際です。だから、人と人が出会い、社会の中でのあらゆる働きが生命あるものとして—例えば教育や治療も芸術として—役割を果たさないといけない時代なのだと思えます。

天空には おひさまが今日も昇り、沈んでいきます。

私たちも 共同体の中で、自分と隣の誰かの中に変化の可能性と今は無理でもいつか可能性となる芽を信じて、明日に向かって進んでいきたいと願っています。

晩秋、一年の中で美しい色彩、光と影の変化の妙を体験できる季節です。

その中で、私たちは内的作業へと向かっていけることでしょう。

大人のそのような生きる姿が、収穫感謝・クリスマスに向かう子どもたちに、大きな意味を届けていくことにつながっていくのでしょ。

闇の季節に光を感じる、クリスマスを受けとめる器としてのそれぞれの「私」の、役割なのだと思っています。

園長 升光 泰雄



# 夢窓幼稚園通信第52号

2016年 11月2日

早いもので暦の上ではもうすぐ立冬です。(7日(月))

季節がめぐり「私の季節です」と、冬が立つのですね。  
そんなふうに自然や時や現象の側から表現をするセンスは、  
すごいな!と思います。古人は偉大ですね。

移りゆく自然の状態が 普段から生活と深く結びついて  
いるからなのでしょうが、それを「表情」として言葉にできるのですから…  
今よりも自然たちに畏怖と畏敬と友情を感じていたのかも少し  
ません。

古人は、私たちが世界を目に見える出来事を中心に捉えるのと  
異なり、それらの状態や状況を生み出している「働き」や「力」を感じて  
いたのではないのでしょうか。

光の明るさや暗さではなく光の働きを、闇の力を…です。

今私たちは目に見える出来事ではなく、その背後にある働きや力を  
感じる力を取り戻さなければならないのだと思います。

光でも闇でもない、息を吸っているのでも吐いているのでもない  
…、どちらでもない漂いの時間に働いているものを感じることが  
できるのでしょうか。

私たちは 未来に向かうために…。